

contents

- 〈展覧会紹介〉 特別企画展「生誕150年記念 菱田春草展 不朽の名作《落葉》誕生秘話」 [2~3]
- 〈イベント報告〉 特別企画展「特別公開 東叡山寛永寺根本中堂天井絵奉納記念
手塚雄二 雲は龍に従う〜上野から龍がやってくる〜」 [4~5]
- 「再興第108回院展」
- 〈イベント報告〉 特別企画展「古代エジプト美術館展」 [6~7]
- 冬の展覧会のお知らせ [8]
- café de musée PAPOTER 特別メニューのお知らせ
- 休館日のお知らせ

表紙：重要文化財 菱田春草《落葉》（右隻部分）明治42（1909）年 永青文庫（熊本県立美術館寄託）





重要文化財
菱田春草(落葉) 明治42(1909)年
永青文庫(熊本県立美術館寄託) 前期展示



菱田春草(落葉) 明治42(1909)年
福井県立美術館 通期展示

誕生秘話

落葉

不朽の名作

菱田春草展

生誕150年記念

樹木図の
極致を
観照せよ

令和6年
9/15日 - 11/4月

前期 9月15日(日)~10月14日(月・祝)
後期 10月17日(木)~11月4日(月) 10月10日(木)に一部展示替

【休館日】10月15日(火)、16日(水)展示替
【開館時間】午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで) ※9月15日(日)は午前10時~
【観覧料】一般1,400円/高校生900円/中小生600円
※20名以上の団体、本展リピーターは2割引、リピーター割(一般のみ)は他の割引や減免との併用ができません。
高校生の方は生徒手帳の提示が必要です。
※障がい者手帳等をご持参の方とご付き添いの方1名は半額 ※未就学児は無料
※スマホ決済アプリPayPay(ペイペイ)対応 ※学校鑑賞会(対象は福井県内学校のみ・要申込)は無料
【共催】福井新聞社 【後援】明治美術学会、NHK福井放送局、FBC、福井テレビ、FM福井、福井ケーブルテレビ さかいケーブルテレビ、この都ネットワーク株式会社、月刊URALA

◎関連イベント

生誕150年記念 菱田春草展
不朽の名作《落葉》誕生秘話
シンポジウム

【参加無料(当日観覧券必要)・申込不要・先着順】
9/22(日)13:15(受付13:00)~16:30
(展覧会見学)16:30~17:30
*シンポジウム終了後、17:30まで特別開館延長
*本シンポジウムは明治美術学会2024年度第2回例会を兼ねたものとなります

- 共催/明治美術学会
- 会場/美術館講堂
- 定員/40名(先着)

【登壇者】
司会/塩谷純氏(東京文化財研究所 上席研究員)
中野慎之氏(文化庁 文化財調査官)
吉田暁子氏(東京文化財研究所 研究員)
鶴見香織氏(東京国立近代美術館 主任研究員)

学芸員トークサロン【要申込】
9/27(金)18:00~(約1時間)
●講師/展覧会担当学芸員
●会場/Café de musée PAPOTER (カフェド ミュゼ パポテ) 美術館併設喫茶室

- 会費/無料(ワンドリンクをご注文ください)
- 定員/20名(先着)
- 申込/Café de musée PAPOTER (カフェド ミュゼ パポテ)へお申し込みください

コラボメニュー
◎展覧会中は特別コラボメニューをご提供します。
是非ご賞味ください。

親子鑑賞会【当日観覧券必要・申込不要】
10/20(日)10:00(受付9:45)~11:00
●会場/美術館展示室
●定員/5名程度(先着)
0~12歳までのお子さまとその保護者の方
●申込/美術館HPよりフォームにてお申し込みください

キッズミュージアム
【参加無料(当日観覧券必要)・申込不要】
《落葉》ミニ屏風をつくろう!
10/19(土)14:00~16:30
●講師/内藤秀信氏(ゴジラ工房)
●会場/美術館1階
●定員/30名(先着) 小学生以上

ワークショップ【要申込】
10/26(土)・27(日)
いずれも①10:00~②13:00~③15:00~
●講師/宮森昭宏氏(和塗師)
●主催/ミュージアムショップ
●会場/美術館第4研修室
●料金/3,000円(お盆代込)
●定員/各回10名
●申込/ミュージアムショップもしくはinfo@greenlab.jpまで

春草ナイト【要申込】
「アートと音楽と」
11/2(土)18:00~20:00
●演奏者/チェロ 荒井 結氏
●主催/ミュージアムショップ
●会場/美術館展示室等
●料金/3,800円(展示解説・入館料・ミニコンサート込)
●定員/30名(先着)
●申込/ミュージアムショップもしくはinfo@greenlab.jpまで

学芸員によるギャラリートーク
【当日観覧券必要・申込不要】
9/28(土)、10/13(日)、10/20(日)、11/3(日)
いずれも14:00~(約1時間)
●講師/展覧会担当学芸員
●会場/美術館展示室

第1章 《落葉》に至る軌跡

東京美術学校(現・東京藝術大学)で学び、岡倉覚三(天心)の指導のもとで「朦朧体」をはじめとした実験的制作を行った画業初期、そして海外渡航を経て真摯に絵画に向き合った五浦時代を重要作品で辿ります。

第2章 《落葉》誕生へ

五浦での苦しい研究生活の中で体調を崩した春草は東京・代々木の地にて療養生活を余儀なくされます。代々木の森を散策する際に持ち歩いていた写生帳や《落葉》に繋がる作品を紹介することで、自然観照を通じて次なる制作への追求を繰り返した時期を読み解きます。

不朽の名作《落葉》 福井で初! 現存5点を一堂に展観

第3章 《落葉》を経て

《落葉》での成功を経て、写実と装飾を取り合わせた更なる芸術の確立を追い求めた春草は満36歳という若さで夭逝してしまいます。「終生不熟」と評され、名声に甘んじることなく模索を続けた春草晩年の境地を追います。

第4章 自然を描く~樹木図の変遷~

菱田春草が《落葉》を生み出す背景にあった日本美術における樹木図の変遷を日本美術院における琳派顕彰と古画からの学習を中心に見ていきます。また洋画壇の自然観察による風景画にも着目し、東洋と西洋の自然観が邂逅し生み出された近代日本画特有の自然の捉え方と表現を紹介いたします。



円山応挙《竹雀図屏風》 天明5(1785)年 静岡県立美術館

2024年北陸新幹線福井・敦賀開業、そして菱田春草(1874~1911)生誕150年を記念し、重要文化財《落葉》(永青文庫蔵)を含む《落葉》連作5作品を一堂に展示します。

制作後115年を経てもなお新しい問いかけを我々に与え続ける《落葉》。本展では春草の画業を通観し、明治美術界の激流と自身の病との苦闘の中で、自然観照によって新たな画境に到達し生み出された不朽の名作《落葉》誕生の背景に迫ります。

更に同時代画家の作品および、近世からは尾形光琳《楨楓図屏風》(重要文化財、東京藝術大学蔵)などを紹介することで、樹木図の系譜を辿ります。《落葉》を巡る奥深い世界をご堪能ください。

史上最大30日間

前期 9/15 - 10/14

菱田春草

落葉

5点総観

後期 10/17 - 11/4

色彩の 点描の 先駆者



重要文化財 菱田春草(賢首菩薩) 明治40(1907)年 東京国立近代美術館

春草

重要文化財

4点展示

後期 10/17 - 11/4

朦朧体の 麗人



重要文化財 尾形光琳(楨楓図屏風) 江戸時代18世紀 東京藝術大学



重要文化財 菱田春草(王昭君) 明治35(1902)年 善寶寺

10/10 - 11/4

中・後期

琳派

降臨

《イベント報告》

手塚雄二

雲は龍に従う
上野から龍がやってくる

特別公開《東叡山寛永寺根本中堂天井絵奉納記念》

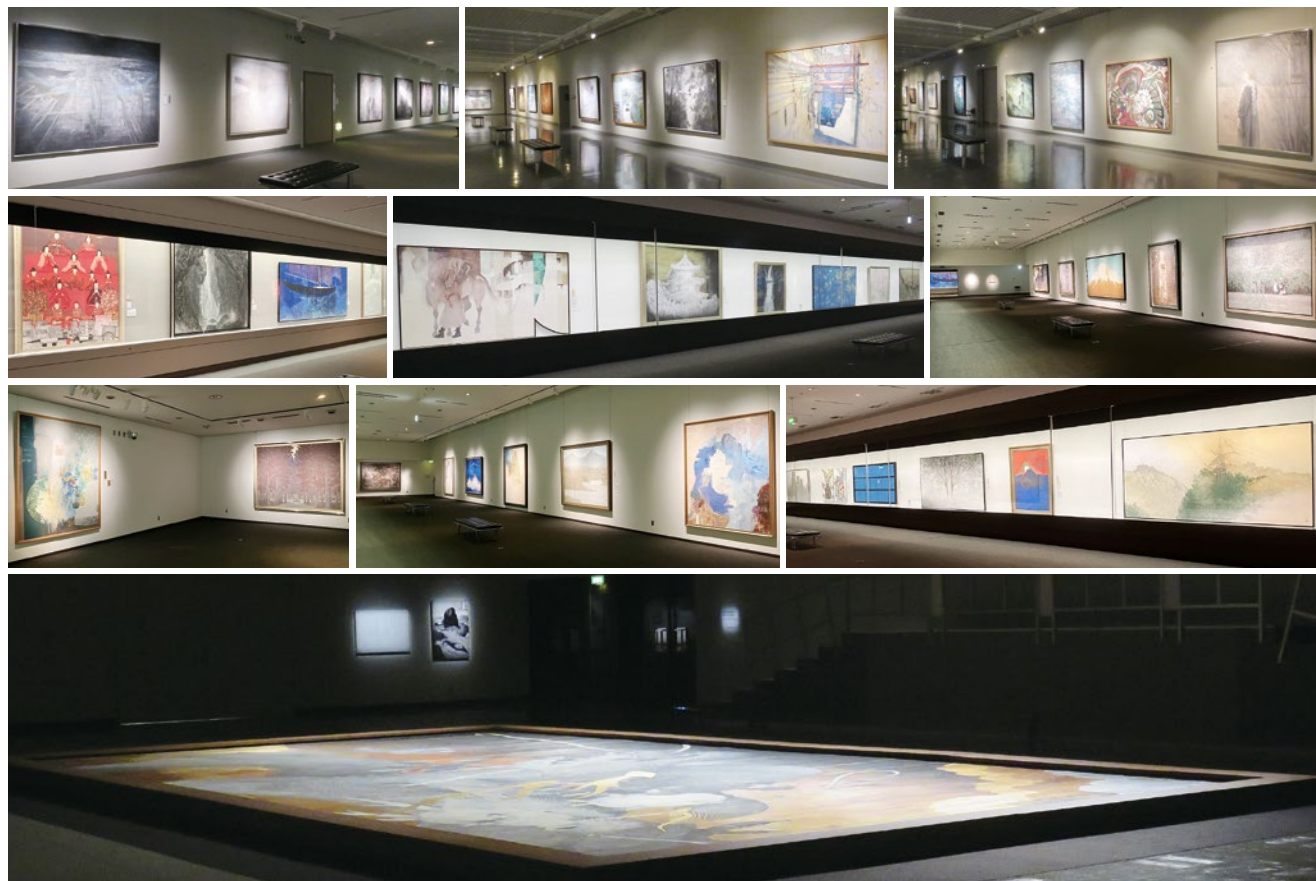
【主催】福井県立美術館、日本経済新聞社
【特別協力】東叡山寛永寺
【後援】台東区、福井新聞社、FBC、福井テレビ、FM福井、
福井ケーブルテレビ さかいケーブルテレビ、こしの都ネットワーク株式会社、月刊URALA

2024年6/21(金)~7/7(日) 二展同時開催

本展覧会では、手塚雄二(当館特別館長、日本美術院同人・業務執行理事)が手掛けた寛永寺の天井絵と、再興第108回院展の二本の展覧会を同時開催しました。

まず、寛永寺創建400周年記念として、手塚が描いた巨大な天井絵「東叡山寛永寺根本中堂奉納天井絵《叡嶽双龍》」を奉納に先駆け披露しました。この機会を逃せば二度と外へ出ることはない大変貴重な作品を公開しました。そして福井では3年ぶりの開催となった「院展」では同人の新作、受賞作品、福井県をはじめとした北陸在住・出身作家の入選作など最高峰の日本画61点をご紹介します。

会期中は4,438人もの方にご来場いただきました。最後に、本展覧会開催にあたりご協力賜りました皆さまに、心より厚く御礼申し上げます。



再興第108回 院展

日本画の頂をのぞむ

【主催】福井県立美術館、日本美術院
【後援】福井新聞社、NHK福井放送局、FBC、福井テレビ、FM福井、
福井ケーブルテレビ さかいケーブルテレビ、こしの都ネットワーク株式会社、月刊URALA

《関連イベント》

●手塚雄二特別館長ギャラリートーク(天井絵)

「東叡山寛永寺根本中堂奉納天井絵《叡嶽双龍》」を描いた手塚雄二と、助手の加来万周氏、永井健志氏、松下雅寿氏に制作エピソードをお話いただきました。

【日時】6月21日(金) 午後2時~午後3時

【場所】第1展示室

【講師】手塚雄二(当館特別館長、
日本美術院同人・業務執行理事)、
加来万周氏(日本美術院特待)、
永井健志氏(日本美術院院友)、
松下雅寿氏(日本美術院院友)

【参加人数】135人



●ワークショップ「蛤の貝がらに絵を描こう！」

日本の伝統的な遊び「貝合わせ」。それに使われる蛤の貝がらに、日本画材で絵を描きました。金箔や絵具など初めて触れる材料にどきどきしつつ、各々の作品の完成を目指して夢中になって取り組みました。

【日時】6月22日(土) 午前10時~午後3時

【場所】第4研修室

【講師】谷善徳氏(日本美術院特待)

【参加人数】12人



●院展作家によるギャラリートーク

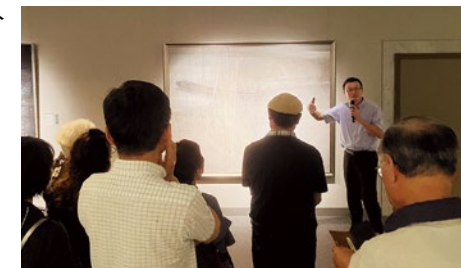
本展に出品されている先生方に、作品制作秘話、作品の見方、交流のある先生のエピソードなど、様々な切り口でお話いただきました。院展ならではのイベントで、3回全てに参加された方もいらっしゃいました。

①【日時】6月22日(土) 午前11時30分~12時

【場所】第2~4展示室

【講師】谷善徳氏(日本美術院特待)

【参加人数】40人



②【日時】6月30日(日) 午後2時~午後3時

【場所】第2~4展示室

【講師】竹澤弘之氏(日本美術院院友)

【参加人数】60人



③【日時】7月7日(日) 午後2時~午後3時

【場所】第2~4展示室

【講師】荒木恵信氏(日本美術院特待、金沢美術工芸大学教授)

【参加人数】40人



The Ancient Egyptian Museum Exhibition

古代エジプト 美術館展

2024年7/20(土)～9/1(日)

主催/古代エジプト美術館展 福井実行委員会(福井県立美術館、福井新聞社、福井テレビ)、古代エジプト美術館 渋谷
後援/エジプト大使館



photo : hiroshi yoshino architects



福井県立美術館では、福井新聞社、福井テレビと実行委員会を組織し、7月20日(土)から9月1日(日)までの会期で、特別企画展「古代エジプト美術館展」を開催しました。

3000年にわたる巨大文明の神秘と美に迫る「古代エジプト美術館展」。世界的に貴重な神々の遺物やミイラをはじめ、当時の流行を反映した装飾品、化粧道具、装身具など約200点を展示しました。

展覧会は「古代エジプトの神々と信仰」「ファラオが率いた国家」「古代エジプト人の衣・食・住」「古代エジプトの死生観―再生とミイラ」の4章で構成。神々への信仰や国家、暮らし、死生観など多様なテーマから、高度に発達した古代エジプト文明と美の世界をひもときました。

目玉は、黄金のミイラマスク、金彩色の巨大木棺、髪の毛まで保存されている少女のミイラ。ツタンカーメン王の指輪や、プトレマイオス朝時代の巨大神殿の柱も見逃せないものでした。

本展では、先王朝時代からローマ支配時代までを魅惑的な遺物で網羅し、古代エジプト文明の神秘と美の扉を開きました。

展示空間は、黒と金を基調としたバナーとピラミッドを模した三角型のエントランス造作から、遺跡の中に入り込んで悠久の古代エジプトの世界へと旅するよう演出。展示室の中心には、ピラミッド内部を貫く「大回廊」をモチーフとした金色に輝く観覧動線を設置し、最後に黄金色に輝く特別な空間「王の間」で最重要な遺物やミイラを鑑賞できるようにレイアウトしました。

このような古代エジプトの世界を体感するため、県内外から連日、

大勢の美術ファンが来館し、最終的な入館者数は、当館の歴代4位となる54,213人に達しました。このため、臨時駐車場からのシャトルバスの運行や開館時間の延長等を行いました。

会期中は、土曜日を中心に、学芸員による「見どころ解説会」が実施され、立ち見のお客様が出る等解説を熱心に聞く方が多いため、質問コーナーを設け、複数回開催する日をつくりました。また、「ギャラリートーク」、「消しゴムはんこを捺してつくる『古代エジプトminiカード』」、「古代エジプト発祥のベリーダンスを見よう!踊ろう!『魅惑のベリーダンスショー&体験会』」、「古代エジプト美術館展ナイトミュージアム」、「映画『クレオパトラ』上映会」、「『エジプト展のみどころ』上映会」、「先着5名様に本展ポスタープレゼント!」等、多くの関連イベントが開催されました。

広報では、駅、大型書店、店舗等でのチラシの配架等を実施しました。また、テレビでは、本展を特集したミニ番組「エジプト展のみどころ」、ニュース、スポットCM等が数多く放映されるとともに、新聞では、担当学芸員による教育面への寄稿及び1面・社会面への全8回にわたる作品紹介寄稿、特集記事、「見どころ解説会」紹介記事、一面告知を含む広告等、雑誌では、特集記事等が掲載されました。また、WEBでも、特設サイト等が制作されました。

これらの対応を実施したことから、入館者へのアンケートでは、多数の方が「大いに満足・満足」を選択され、複数回来館された方もありました。当館としては、この展覧会に御来場、御協力いただいた皆様に対して、この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

《関連イベント》

●見どころ解説会 ※各回約30～50分間実施

[日 時] 7月27日(土)10:30～、
8月3日(土)10:30～、12:50頃～、
7日(水)9:30頃～、9:55頃～、
10日(土)10:30～、17日(土)10:30～、
23日(金)11:30～、24日(土)10:30～、
27日(火)11:15～、31日(土)10:30～

[場 所] 福井県立美術館講堂
[講 師] 西村直樹
(福井県立美術館 副館長(学芸))
[参加人数] 846人



●ギャラリートーク

[日 時] 7月20日(土)14:00～15:00頃
[場 所] 福井県立美術館展示室
[講 師] 菊川匠氏

(古代エジプト美術館 渋谷 ファウンダー)、
西村直樹
(福井県立美術館 副館長(学芸))
[参加人数] 90人



●消しゴムはんこを捺してつくる 「古代エジプトminiカード」

[日 時] 7月27日(土)11:00～16:00頃、
8月17日(土)11:00～16:00頃

[場 所] 福井県立美術館貸展示室
[講 師] 川治伴江氏
(こどものかおグローバルstamp'n
マイスター協会 マイスター)

[参加人数] 450人



●古代エジプト発祥の ベリーダンスを見よう!踊ろう! 「魅惑のベリーダンスショー&体験会」

[日 時] 7月28日(日)11:00頃～11:40頃、
8月18日(日)11:05頃～11:45頃

[場 所] 福井県立美術館貸展示室
[講 師] Saara氏(オリエンタルダンサー)、他
[参加人数] 256人



●古代エジプト美術館展 ナイトミュージアム

[日 時] 8月17日(土)18:00～20:00頃

[場 所] 福井県立美術館展示室
[講 師] 西村直樹
(福井県立美術館 副館長(学芸))
[演奏者] マリンバ・パーカッションデュオ
Pulse Du(平岡愛子氏、山崎智里氏)
[参加人数] 39人



●映画「クレオパトラ」上映会

[日 時] 7月20日(土)～7月31日(水)9:00～17:00

[場 所] 福井県立美術館講堂
[参加人数] 4,235人

●「エジプト展のみどころ」上映会

[日 時] 8月1日(木)～9月1日(日)9:00～17:00
※8月31日(土)、9月1日(日)は
9:00～19:00

[場 所] 福井県立美術館講堂ロビー

●先着5名様に本展ポスタープレゼント!

[日 時] 7月20日(土)～9月1日(日)9:00～
[場 所] 福井県立美術館エントランスロビー
[プレゼント人数] 220人

冬の展覧会のお知らせ

「旅するコレクション ～海を渡った画家たち～」

【会期】2024年12月19日(木)～2025年2月24日(月)
※展示替え1月20日(月)

海外での経験を積んだ画家の作品を紹介します。また、オノサト・トシノブや鬚嘯など国際展覧会で受賞歴のある画家も合わせて紹介します。



ポール・ゴーギャン《水辺の女たち》1894年

「生きもの大集合!」

【会期】2024年12月19日(木)～2025年1月19日(日)

本展では、絵画や工芸など、様々な手法で表現された生きものの姿をご覧ください。

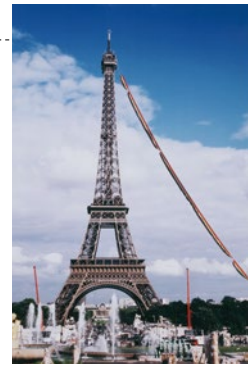


《虫尽図前金具》明治時代

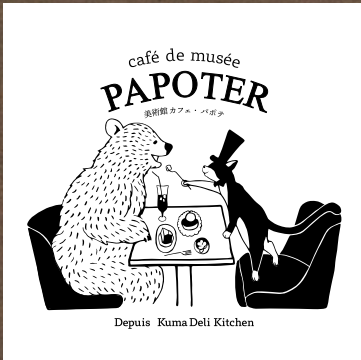
「いざ、冒険へ!めくるめく物語の世界 ～ルネサンスから絵本まで/新収蔵作品展」

【会期】2025年3月4日(火)～3月30日(日)

神話などを題材とする版画、ルオーの代表的な版画『悪の華』シリーズ、絵本の原画まで物語をテーマにした絵画を紹介します。また、同時開催にて令和4・5年度に購入・寄贈・寄託を受けた作品から一部を紹介します。



水谷内健次《300メートル レインボー・エッフェルタワー・プロジェクト(エッフェル塔、パリ) (4)》1987(昭和62)年



【営業時間】
9:00～17:00

【定休日】
不定休

* Instagram、
店頭のカレンダー
をご覧ください。



Instagram

菱田春草展 特別メニュー

「生誕150年記念 菱田春草展 不朽の名作《落葉》誕生秘話」に合わせまして、コラボメニューをご提供いたします。前半は、代表作《落葉》を、後半は、尾形光琳《槇楓図屏風》をイメージしたラテアートを。当店自慢のパティシエ特製の限定スイーツと共に楽しみください。



※デザインは変更になる可能性があります。

お知らせ

◎2024年10月～2025年2月の休館日について

館内メンテナンス、展示替え等のため下記の日程は休館とさせていただきますのでご了承ください。

※■は休館日です。



美術館のHPはこちら▶

2024年 10月 October							11月 November							12月 December							2025年 1月 January							2月 February							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4	5						1	2	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4							1
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	
27	28	29	30	31	24	25	26	27	28	29	30	29	30	31	26	27	28	29	30	31	23	24	25	26	27	28									